

令和6年度平塚市市民活動推進補助金

活 動 報 告 会

◆開催日 令和7年5月10日(土)

◆会 場 ひらつか市民活動センター

活 動 報 告 会 スケジュール

●開催日：令和7年5月10日（土）

●会場：ひらつか市民活動センター

時 間	内 容
14:00	活動報告会開会
14:05	活動報告会 ・団体による報告5分、審査委員との質疑3分、審査委員から講評2分 【入門コース 報告】 ①14:05～ 仲間で作るざる菊園 ②14:20～ マスターズ平塚 ③14:35～ 一般社団法人F-STYLE スポーツクラブ ④14:50～ 平塚市手をつなぐ育成会 ⑤15:05～ 城島地区地域活動推進会議 【発展コース 報告】 ⑥15:20～ 湘南ダンベル体操協会 ⑦15:35～ 平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会 ⑧15:50～ 特定非営利活動法人 JUDOs 【組織基盤整備コース 報告】 ⑨16:05～ NPO法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ ⑩16:20～ ママぎゅっと
16:35	閉会

報告団体一覧

●入門コース(5団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	仲間で作るざる菊園	ざる菊園の管理運営	10 万	P3
2	マスタース平塚	野球を通して生き生きとした人生を	8 万	P10
3	一般社団法人FーSTYLEスポーツクラブ	ボッチャスクール活動事業	10 万	P14
4	平塚市手をつなぐ育成会	ともいきスペース事業	10 万	P22
5	城島地区地域活動推進会議	地域資源活用による交流型体験の里づくり事業	8 万	P26

●発展コース(3団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	湘南ダンベル体操協会	ダンベル体操による健康づくりの推進	26 万	P30
2	平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会	中勘助が平塚に居を構えて100年記念事業	41 万	P37
3	認定特定非営利活動法人JUDOs	海外柔道家と平塚市の皆さんとの交流事業	33 万	P44

●組織基盤整備コース(2団体)

	団体名	申請活動・事業名	申請額	ページ
1	NPO法人湘南平塚ささき里地里山ラボ	講習会指導人材育成・財務管理強化	17 万	P52
2	ママぎゅっと	ママブランディング	17 万	P56

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	仲間で作るざる菊園	
2 事業名	ざる菊園の管理運営	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） ☒ 入門コース ・ ☐ 発展コース	10 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和6年4月1日 ～ （完了期日） 令和7年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	私の友人でもある土地の所有者横山邦夫夫婦が友人からもらい受けたざる菊の苗100本を休耕地の一角に植え付け、楽しんでいたが、令和2年このまま増やし続けていたらとても二人で管理しきれないと苦慮していたところに「仲間を集めてもっと大きくざる菊園にしたいから土地を使わせてもらえないか」と提案したところ、耕うん作業や草刈りなど休耕地の管理をしてくれるのならと、了解をもらうことができ、ちょうどコロナ禍で近隣住民とも関わりあうことが少ない時期でもあったため、地域住民の触れ合いの場、憩いの場になればと令和3年から7人の仲間と800株のざる菊から始め令和5年には11人の仲間に加え1,300株の植え付けをし旭北の福祉村から80人の鑑賞者を迎える等少しづつ知れ渡るようになってきました。今後とも平塚市民をはじめとし、より多くの人に触れ合いの場、憩いの場所を提供できるようにすることを目的に活動	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	ざる菊園維持のために必要な草むしり、苗の育成植え付け施肥等。 4月1日・6日からの草むしりから始まり 4月27日・28日鹿沼土に挿し芽植え付け 6月1日・2日鹿沼土に植えた挿し芽をポットに植え付ける。 6月29日・30日うね立て、苗の植え付け、 7月6日施肥及び除草剤散布、 7月7日散水作業、 7月13日・株の植え付け及び施肥、草むしり、 7月27日散水、草むしり、施肥の作業、 8月3日・4日芽カキ、草むしり、 8月17日・18日施肥、育ちの悪い苗の植え替え、 9月26日施肥等18日間延べ138名の参加。	

7 得られた 成果・効果 活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。 また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。	夏の猛暑、水不足等により近隣のざる菊園ではうまくざる菊を育てることが出来な かったようですが、助成金を使い中古の管理機を購入、手持ちの管理機と合わせ2台で 床を作る作業も今まで以上にうまくできたのではないかと思います。また、肥料代や 除草剤の購入資金もある程度満足のできるものであり参加者の負担も軽減できたこと は喜ばしいことでした。十分とは言えない管理状況では有りましたが、近隣のざる菊 園より、立派なざる菊を育てることが出来前年より多数の鑑賞者、おそらく300人近く の人が訪れ市の担当者からの助言もあり募金箱を設置してみたところ、27,000円を超 える浄財を得ることが出来うれしいことでした。冒頭に記した通り猛暑であり、水不 足の中近隣でうまく栽培できなかった中でそれなりのざる菊の栽培が出来多くの市民 をはじめとした鑑賞者には十分楽しんでもらうことが出来たと自負しているところ もありますが、この「入門コース」の助成事業は一回限りということであり資金面 で来年度の運営に一抹の不安を抱いていますが今年度の経験を糧に、より平塚市民を始 めとした大勢の人たちの癒しの場、憩いの場所を提供できたらと新たに準備を始めて いるところであります。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	今後今年度のような天候不順など十分考えられますので遮光ネットの準備や、散水用 の水の確保等が必要になってくるのではないかと案じています。また、年々作付けの 株数が増えていますので参加するメンバーの確保にも取り組んでゆかなければならな いことも課題の一つになっています。複数年同じ場所でざる菊の栽培をしていますの でそろそろ土壌改良も考えていかなければいけない時期にきていますが800坪（2,600 ㎡）の土壌改良をするための資金の工面をしなければならないのも課題になります。
9 今 後 の 事業展望等 活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。	年間における活動状況は、6で示した活動、事業の実績が基本の活動になりますが、今 後より多くの人たちに楽しんでもらうことが出来る「ざる菊園」の運営には大勢の参 加者を募るほか機械を使えるところは機械に頼ることも必要になりますが数十万円の 資金繰り等問題は山積みになります。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

① 収 入	項 目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)				
	補助金	100,000		100,000		0		平塚市市民活動推進補助金				
	寄付金	110,000		161,100		51,100		管理機購入のため特別寄附 (会員及び協賛者)				
	土地所有者負担金	200,000		60,000		-140,000		土地所有者負担金 (横山氏40,000円・和田氏20,000円)				
	年会費・行事参加費	44,000		30,000		-14,000		会員による年会費 (3,000円×10人)				
	その他賛同者寄付	20,000		29,039		9,039		ざる菊園協賛者による寄付 (内来園者からの寄附26,792円)				
	収入合計	A	474,000		B	380,139		B－A	-93,861	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円		
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)		
	農具費	296,000 (30,000)		150,000		150,000 (50,000)		-146,000		ヤンマー中古管理機代150,000円		
	肥料費	50,000 (30,000)		0		0 (0)		-50,000		乾燥豚糞200キロ (加藤様より寄付)		
	肥料費	42,000 (20,000)		70,829		70,829 (30,000)		28,829		①挿し芽用鹿沼土及び育苗用土40,330円 ②育苗ポット5,870円 ③化成肥料24,629円		
	肥料費	34,000 (20,000)		71,940		71,940 (20,000)		37,940		除草剤10,900×6個×1.1		
	福利厚生費	18,000 (0)		50,450		0 (0)		32,450		作業時の飲み物他 累計137人		
	会員による反省会 及び鑑賞会費	13,500 (0)		34,100		34,100 (0)		20,600		のぼり旗及びボール10本セット一式34,100円		
	予備費	20,500 (0)		2,820		0 (0)		-17,680		管理機燃料 (軽油代) 2,820円		
	支出合計	C	474,000 (100,000)		D	380,139		D－C	-93,861			
③収支決算額		B	380,139 円		－	D	380,139 円		=	0 円		【備考】

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

令和6年度仲間で作るざる菊園活動写真



8月初旬 除草作業と合わせて芽
カキ作業、(より多くの芽が出るよ

う一株一株芽をつまみます)これも
大変な作業です





9月下旬 近隣のざる菊を栽培しているところでは、猛暑、水不足のた



め上手く育てることが出来なかったところもあるようでしたが苦勞の



いがあり順調に育っています。それでも200株位は育ちの悪い株が



あり植え替えを行いました。





11月15日 タウンニュースで取り上げていただきました。



犬の散歩がてら



河野太郎さんも片倉市議と立ち寄られました



例年ならば10月下旬ごろから咲き始めるのに、見ごろが11月に入っ



てになりました。吉沢福祉村の方も楽しんでいきました



会長のゴルフ仲間。横浜、川崎の人ですがわざわざゴルフ帰りに！



沢山の方に観賞に来ていただき感謝感激です



入門コースの補助金事業としては一回限りということで、次期は資金面で大変ですが更に精進してゆきます



ざる菊園ののぼり旗10本も作り多くの人に知らせることも出来ました

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	マスターズ平塚	
2 事業名	野球を通して生き生きとした人生を	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ 発展コース	8 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和6年 4 月 1 日 ～ （完了期日） 令和7年 3 月 31 日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	身体を動かすことに後ろ向きになりがちな人や、人との交流の場が減りつつある平塚市民・特に家にこもりがちな高齢者に対して、野球というスポーツ活動の場を設けることで心身の鍛錬を通じた健康促進や、人とのつながりから生まれる楽しみや生きがいの一助となる場を地域社会に提供する。 また、野球というスポーツを通して、普段関わりの少ない異世代や外国人と交流する機会を創出し、多様な平塚市民のコミュニティ醸成に貢献する。 さらに、運動公園や球場の美化活動を通して、平塚市民がいつも気持ちよく利用できるような街づくりに貢献する。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	1. 体験会の実施 4月15日に大神グラウンドで実施、2名参加。 2. 定期的な運動・練習（週2回） 毎週月曜日、木曜日、大神グラウンドで年間60回各25名前後参加した。 3. 地域間交流試合を通じたコミュニティ形成（年20回以上） 神奈川県央中高年者野球愛好会に加盟し、南足柄・小田原・秦野・厚木・座間大和・茅ヶ崎・綾瀬の高齢者野球チームと3-11月交流試合20回実施した。 4. 地域の運動公園や球場の清掃・美化活動（年3回） 戸田グラウンドにて草むしり、グラウンド周辺清掃を4、7、9月と3回実施した各回7名前後参加。 5. 世代を超えた交流の場の創出（年3回） 神奈川アイリス女子野球チームと伊勢原球場にて10/5に交流試合実施した。 緑台少年野球チームと鈴川球場にて12月7日に交流試合を実施した。 6. 地域福祉への貢献（年3回） 秦野市の知的障害施設弘済学園で4月から毎月日曜日に3名で草刈り、清掃ボランティア活動を実施した。 神奈川県立湘南支援学校の生徒が神奈川県ティボール大会に出場するにあたり11月15日、20日、22日に3回サポート活動を実施した。 7. 外国人サポートの為にスポーツ交流会 グラウンド確保、チラシ作成・配布、公民館へ協力依頼、平塚市外国人交流会で宣伝勧誘、企業へ宣伝勧誘、看板を作成し11/24に大神グラウンドで実施した。	

7 得られた 成果・効果 活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。 また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。	野球というスポーツを通して、普段関わりの少ない異世代や女子野球チーム、支援学校の生徒たちと、互いに思いやり、スポーツマンシップを尊重して、力いっぱい交流できたことは、選手同士のみならず保護者も含めて普段得られない喜びと手ごたえをお互いに感じられたことを感謝したい。このような機会が増えていくことを望む。また、運動公園や球場、福祉施設での美化活動を通して、近隣住民が気持ちよく利用できるよう応援することが出来、福祉施設からも頼りにされて感謝された。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	外国人サポートの為にスポーツ交流会については事前準備は整っていたが、結果参加者が無く残念な結果となった。『野球』というスポーツが世界共通で、日本で生活している外国人であれば、大谷翔平の大人気に支えられてそれなりに集まるのではないかと思い込んでしまった私が間違いでした。もっと早めに様々にヒアリングして平塚近辺の外国人と野球について把握するべきでした。また、外国人に対する募集アプローチも様々な検討をするべきでした。外国人とスポーツ交流会を考えると平塚では野球がいいのか？或いは対象を再検討するのか？課題です。
9 今 後 の 事業展望等 活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。	今年初めて市民活動推進事業入門コースに取り組みました。野球を通じて活動する中でこんなに子供達やご家族に喜んでもらえるんだ、やって良かったと思えた瞬間が私たちの財産となりました。もっと待っている方もいらっしゃることも感じました。但し、活動の中ではメンバー全員の賛同が得られず一部のメンバー中心での活動となっていました。高齢者の集まりですのでそれぞれの環境がある中での活動です。せっかく取り組んだ事業ですし手ごたえも感じましたが、今後はマスターズ平塚としては一区切りとすることになりました。今後は継続可能なものについては、有志として一部とはなりますが賛同メンバーとして参加していきたいと考えております。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

① 収 入	項 目	予算額（円）		決算額（円）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）				
	補助金	80,000		80,000		0		平塚市市民活動推進補助金				
	団体会員の会費	30,000		489		-29,511		団体会員年会費の一部を事業費に充当				
	収入合計	A	110,000	B	80,489	B-A	-29,511	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円				
② 支 出	項 目	予算額（円） （うち補助金額）		決算額（円）		補助対象経費（円） （うち補助金額）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）		
	消耗品費・印刷費		15,000 (10,000)		29,815		29,815 (29,500)		14,815	A4 カラーコピー用紙2,243円 クラフト封筒角形110円 クリアポケットテー プA20枚220円 A4 カラーコピー用紙877円 グラブ用オイル1,870円 軟式硬 式ボール2ダース10,400円 公式Mボール5個3,685円 印刷代410円 チラシデ ザイン料10,000円		
	物品購入費		80,000 (65,000)		50,174		50,174 (50,000)		-29,826	オールラウンド用グローブ9,900円 オールラウンド用グローブソフト11,499 円 ピッチャー用グローブ11,880円 野球ボールティ3,839円 軟式バット 15,000円 セット販売値引き▲1,944円		
	グラウンド使用料		15,000 (5,000)		500		500 (500)		-14,500	大神グラウンド外国人との交流会実施用		
			()				()					
			()				()					
			()				()					
			()				()					
			()				()					
		支出合計	C	110,000 (80,000)	D	80,489		80,489 (80,000)	D-C	-29,511		
③収支決算額		B	80,489 円	-	D	80,489 円	=	0 円	【備考】			

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

神奈川アイリス女子野球チーム (伊勢原球場)



知的障害施設弘済学園 (秦野市)



国際交流フェスティバル (平塚市)



↑緑台少年野球チーム (鈴川球場)

※補助金での購入品

※

外国人スポーツ交流会 (大神グラウンド)



BATTING TEE

バッティングティ

バッティングフォームの修正
ストロークポイントをつかむ練習

組立簡単

高さ調整可能
(約55~85cmまで)

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	一般社団法人 F-STYLEスポーツクラブ	
2 事業名	ボッチャスクール活動事業	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ 発展コース	10 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和6年4月1日 ～ （完了期日） 令和7年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるボッチャそのものが共生社会を映し出すスポーツであり、小さなお子様から高齢の方まで行える「生涯スポーツ」としても、地域住民の健康増進に寄与できるのではないかと考えます。 ボッチャの普及に伴い、学校や行政イベント等にてボッチャを経験されたことのある方は増えておりますが、継続して練習できる場所がないという地域の声をお聞きし、現在当クラブでは月8回頻度でボッチャスクールを開講し、継続したスポーツ参加の機会を提供しております。 現在の課題として、障がいを持たれた方の会員数増加に伴い、障がい特性に合った競技用具が不足しております。行政で貸出可能なボールも使用いたしましたが、障がい重度な方には使用が困難な場合もあり、誰もがボッチャを楽しめるような環境整備が急務と考えております。障がいを持たれた多くの方の受け入れが可能な環境整備を進め、地域の誰もが集いボッチャを楽しめるスクールを継続できればと思います。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	○ボッチャスクール活動 ・実施期間：毎月6～8回実施 年間72回実施 ・日時：平日 18～21時 土日祝 9～12時・13～16時 ・場所：旭北・旭南・吉沢公民館、ひらつかサン・ライフアリーナ等 ○ボッチャの普及・啓発に関する地域連携活動 ・内容：公民館まつりやイベントでの体験会の実施、地域の教育機関・企業等での授業 ・研修の実施。スポーツ普及だけでなく、対象者のニーズに合わせてボッチャを『ツール』とした体験会や研修を提案。具体的には、地域特性を活かしたビーチでのボッチャや、コミュニケーション・チームビルディング、障がい者サポートの理解を目的としたボッチャ研修の実施など ・実施期間：4月ゆうちゃんカップ 参加者数20人・6月平塚支援学校交流授業 参加者 支援学校児童15人・公民館まつり・イベントでの体験会 3回 参加者数1回 100人 教育機関での授業 2回、行政委託体験会 1回 ○ボッチャ大会 ・6月平塚市ボッチャ大会参加 3チーム参加 結果：優勝、3位、4位 ・10月平塚市パラスポーツフェスタ 4チーム参加 結果：優勝、2位パート優勝、3位パート優勝	

7 得られた成果・効果 活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。 また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。	支援学校での授業では、助成金を活用して購入した競技用ボールを使用し、児童たちに多くの成功体験を提供しました。これにより、児童たちは自信を深め、先生方からも「いつもとは違う表情」や「こんなこともできるんだ」という新たな発見の声が寄せられました。この取り組みは、児童たちの成長を支援するとともに、教育現場でのボッチャの可能性を広げる成果を上げています。 公民館まつりでの体験会を通じて、延べ数百人にボッチャに触れる機会を提供しました。この活動は、地域住民の障がい者支援への理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を目的とした研修としても役立っています。また、地域の特性を活かし、ビーチボッチャなどユニークな活動を実施することで、ボッチャの魅力を発信しました。 地域の障がい者参加者が増加し、競技レベルの向上も見られました。6月の平塚市ボッチャ大会では地域から3チームが参加し、優勝、3位、4位の好成績を収めました。さらに、10月の平塚市パラスポーツフェスタでは4チームが参加し、全体優勝および各パートでの優勝を達成するなど、地域全体の競技力向上が証明されました。これらの取り組みを通じて、障がい者が地域社会に積極的に参加できる環境づくりを進め、地域全体での支援や理解を深める成果を上げています。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。 また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。	①障がい特性に応じた競技用具が不足しており、重度の障がいを持つ方には既存の貸出用具が対応できないケースがありました。全ての参加者が公平に楽しめる環境を整備する必要があります。 ②ボッチャスクールは月8回程度開催しボッチャを通して社会参加する機会を提供していますが、継続的な参加が難しいケースもあり、障がい者や高齢者、子どもなど、幅広い層が参加し続けるためのサポートや参加しやすいアクセス環境の整備が重要です。 ③普及活動の広がりについて課題 体験会やイベントでの参加者は増加していますが、単発の参加に留まる場合が多く、ボッチャを継続的に楽しむための取り組みが不足しています。特に体験会後のフォローアップが必要です。 ④施設環境の整備として、継続的に練習できる場所が少ないという地域の声に応えるため、安定して利用可能な施設の確保や新設が求められます。
9 今後の事業展望等 活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。	障がいの有無に関わらず、全ての参加者が快適にプレイできるよう、競技用具の整備を進め特に障がい特性や高齢者に対応した用具（ランプ）の確保をして、高齢者の社会参加促進の通いの場として地域と連携していきたいと思えます。 市内の公民館や地域イベント、教育機関との連携も強化し、ボッチャを活用した研修や交流授業を提案し地域特性を活かしたビーチボッチャやチームビルディング研修を通じ、地域住民や企業にボッチャの魅力を広げていきます。さらに、平塚市ボッチャ大会への参加や選手育成を推進し、市内の競技人口の拡大と競技力の向上を図ります。平塚市の誰もが気軽に集える場を提供します。これらの取り組みを通じ、共生社会の実現と地域全体の健康と活力の向上を目指します。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

① 収 入	項 目	予算額（円）		決算額（円）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）			
	補助金	100,000		100,000		0		平塚市市民活動推進補助金			
	ボッチャスクール 収入（年間会費）	312,000		312,000		0		会員30人 @12,000（介助者なし）×14人 @18,000（介助者あり）×8人			
	ボッチャスクール 収入（参加費）	528,000		528,000		0		参加費平均：月2回参加			
	スポンサー収入	385,000		310,000		-75,000		2 社			
	収入合計	A	1,325,000	B	1,250,000	B－A	-75,000	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円			
② 支 出	項 目	予算額（円） （うち補助金額）		決算額（円）		補助対象経費（円） （うち補助金額）		増減額（円）		具体的な内容（積算根拠等）	
	ボッチャスクール 備品	(	350,000 100,000)		350,000	(	350,000 100,000)		0	ボッチャボールセット2セット@187,770 養生テープ@300×200本 ビニール テープ@350×200 体験会用ボッチャシート2枚32,230	
	ボッチャスクール 経費	(	360,000 0)		360,000	(	0 0)		0	会場費 スポーツセンター1回7700円×30回 アリーナ1回400×42回 交通費 年 間 112,200円	
	会計・労務等経費 （共通）	(	330,000 0)		330,000	(	0 0)		0	税理士顧問料	
	ボランティア経費	(	210,000 0)		210,000	(	0 0)		0	食事提供等（イベント、出前授業参加者）	
	法人税等	(	75,000 0)		0	(	0 0)		-75,000		
		(				(					
		(				(					
			C	1,325,000 (100,000)	D	1,250,000		350,000 (100,000)	D－C	-75,000	
③収支決算額		B	1,250,000 円	－	D	1,250,000 円	=	0 円	【備考】		

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



2月に市民の皆さん向けのボッチャ研修会を実施しました。内容はルール説明、審判の役割などをお伝えさせて頂きました。この研修会でも助成金で購入したボールを使用しボールの違いなどもお話をさせて頂きました。参加者20名

伊勢原支援学校 ボッチャ体験会



1月30日、伊勢原支援学校にてボッチャ出前授業を開催しました。中等部25名、小学部15名 合計40名
内容は、小学部と、中等部に分かれボッチャのルール説明や技の実演など行い、最後に先生方にも参加して頂き試合を行いました。



吉沢公民館まつり

2月に行われた吉沢公民館まつりでは今年で二回目の参加をさせて頂きました。去年より参加者も増え、去年もやったよと声おかけてくれた小学生も参加してくれたり、おじいちゃんを連れて来てくれ一緒に体験をして頂きました。体験会参加者数 150人

平塚支援学校 ボッチャ大会



所属選手の追悼大会でもあり沢山の方々に参加して頂きました。
この大会では助成金で購入したボールを使わせて頂きました。

参加者数 30名

ひらつかビジネスエキスポ2024



ひらつかビジネスエキスポ2024では、雨でしたがステージイベントにて仮装でのボッチャ体験会を行いました。

観戦されているお客様の中からメンバーを指名してチームを組み対決となった。

初めての試みでしたがとても盛り上がりボッチャに興味を持って頂きました。

体験会参加者数 2日間で100名